

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

分類第	號
部	門
倫理學部	
西洋倫理叢書	
冊	次
全 11 冊	第 5 冊
分類第	號
150.198	

福岡第一師範學校  
倫理學部  
西洋倫理叢書  
第 5 冊  
全 11 冊

# 西國立志編

原名  
自助論

第五冊

# 芽 四

T1A1

22

N37sa



福岡教育大学蔵書

自助論第五冊目錄

第六編 藝業ヲ勉修スル人ヲ論ズ

- ① 天才アリト雖モ必ズ勉強ノ力ヲ要ス
- ② 藝ヲ好モハ利ノ爲ニスルニ非ル事
- ③ 安日洛清廉淡薄ニシテ雕像學ヲ勉シ事
- ④ 秩襄一画ニ七八年ヲ費セシ事
- ⑤ 少年ノ聲譽ハ恃ニ足サル事
- ⑥ 伴克斯小童ヲ勸勵セシ事
- ⑦ 古勞德羅倫萬象ヲ以テ師トナセシ事
- ⑧ 篤兒涅爾薄值ノ画ヲ輕ンゼザリシ事
- ⑨ 百爾理爾替者ノ相ト爲テ羅馬ニ遊シ事
- ⑩ 加洛ノ事

① 丘格拉士保申ノ事

② 戎弗拉吉士面ノ事

③ 維爾啓談話ヲ好ザリシ事

④ 画工馬爾珍大画ヲ作ル時屢々餓死ニ迫リシ事

⑤ 惹迷斯沙不爾士鑄鐵工ニシテ画工雕工ヲ兼シ事

⑥ 有名ノ樂師彊勉ニシテ倦ザリシ事

第七編 貴爵ノ家ヲ創タル人ヲ論

① 古者尊貴ノ族今ハ多ク平民ニ混ズル事

② 現存スル貴爵ノ家多ク商賈ヨリ起シ事

③ カ查福禮釘ヲ造ルノ秘ヲ探ント欲シ艱難ヲ屢

セシ事

④ 維廉費布士沈船ノ貨財ヲ搜リ出セシ事

⑤ 戦功ニ由テ貴爵ヲ得タル人

⑥ 狀師等ヨリシテ貴爵ニ陞リシ例

斯邁爾斯自助論 一名西國立志編

第六編 藝業ヲ勉修スル人ヲ論ク

彌爾尼士ノ詩ニ曰。遠處ニ大ニ光輝ヲ發スルモノアリ。縱ヒ汝始ユレヲ捕得ザルトモ。再又ユレヲ試ベシ。蓋シ善徳ハ藝事ヲ争賽スル中ニアリテ。利欲ニ汲々タル中ニハアラザルナリ。

○天才アリト雖モ必ず勉強ノカヲ要ス

凡ソ藝業ヲ修テ。極妙極善ニ至ルモノハ。特ニ許多ノ辛苦勉強ニ由テ得ラル。ナリ。丹青ノ妙手。雕像ノ名工。一筆一カト雖モ。空ク施サズ。コレニヨリテ。次第ニ精神ヲ倍ス。或ハ才思ニモ由ベケレモ。畢竟學習ノ功ヲ積ルモノナリ。禮諾爾圖曰。誰ニテモ繪事ニ長ゼント欲スルモノハ。ツノ

Michael Angelo.

自其言録六

心ヲ悉クユ、ニ注ギ、晨起ヨリ夜卧ニ至ルマデ、絶テ他念  
 アルベカラズ、コレ繪畫ノミニアラス、他ノ藝業ニ於テモ  
 亦然リ、又一藝ニ卓絶セント志スモノハ、學ヲ欲スル時  
 ト、欲セザル時トヲ論ゼズ、朝ニ晝ニ夜ニ常ニ工夫ヲ用、ベ  
 シ、遊戯セズシテ、偏ニ辛苦學習スベシトイヘリ、蓋シオハ  
 天ヨリ受レドモコレヲ成全スルハ、自脩ハ功ニ由ルナレ  
 バ、天才ヲ恃マシテ、人カヲ盡スベキナリ。

③ 藝ヲ好、モノハ利ノ爲ニスルニ非ズ

人ノ卓絶ノ名ヲ成ハ、偶然天幸ニ非ズシテ、專一勉強ナル  
 ニ由ナリ、或ハ藝業ニ由テ財貨ヲ得ルト雖、元來財貨ヲ  
 得ント志シテ、藝業ヲ學ブニハ非ズ、抑モ清約廉儉ニシテ  
 心ヲ用ヒ精ヲ勞スルコト、豈ニ金錢ヲ欲スルモノハ、能ク堪

ルトユロハナランヤ、コレタツソノ業ヲ修ル中ニ滋味アリ、  
 悅樂アルニ由テ、コレヲ好テ、自ラソノ心ニ慊シ足リトス  
 ルナリ、シカレバ、悅樂ハ勉強ニ因テ得ルトコロハ、最善ハ  
 賞典ナリ、コレニ從フトコロノ財貨ハ、特ニ偶然ノ物ニ過  
 ザルノミサレバ、或人彌開爾、安日洛ニ向テ、一ノ畫工、利ヲ  
 求ル爲ニ、畫ヲ辛苦スルコトヲ語ケレバ、安日洛コタヘテ、予  
 思フニ、カクノ如ク、熱心ニ富ヲ欲スルモノハ、ソノ心ニ足  
 リトセザル中ハ、貧人タルヲ免カレズト言シトナリ。

③ 安日洛清廉淡薄ニシテ、雕像學ヲ勉ムル事

安日洛ハ、禮諾爾圖ニ似テ、マタ勉強ノ重ズベキコトヲ信ズ  
 ル人ナリ、フノ言ニ、何ナル物ニテモ、手善ク心ニ應ズルト  
 キハ、大理石ニ模出し、一體ノ如クニナラシムルコトヲ得ベシ

自其言録六

ト云リ。ソノ人ト爲リ。清廉ニシテ。自奉スル。儉素ナリ。故  
 ニソノ言ニ。予ガ同時ノ人ヨリ。多光陰ヲ覓メ出シ。多學習  
 スルヲ得ルハ。儉省ニ慣フニ賴リト云リ。サレバ。ソノ事  
 業ヲ作シ。ナガラニ。少許ノ麴色ヲ喫シ。少許ノ酒ヲ飲ルハ  
 中夜睡醒レバ。急ニ起テ蠟燭ヲ頭帽ニ附着シ。ソノ光ニ  
 由リ。鑿ヲ以テ勞作ス。時トシテハ甚々疲レ。衣ヲ脱スルニ  
 及ハズシテ。ソノマ。倒レ卧シ。覺バ。マタソノ業ヲ做セシ  
 トナリ。安日洛好テ刻ムトコロノ創意ノ像アリ。老人小車  
 ニ乗リ。沙漏ヲ持チ。其上ニ予ナホ方ニ學習ニ從事スト云  
 ル語ヲ銘スルモノナリ。ユレ等ニテモ。ソノ平生志ノ存ス  
 ルトコロヲ觀ルベシ。

④ 秩襄一畫ニ七八年ヲ費ス事

\* Titian

秩襄ハ。以太利有名ノ画家。マタ強勉ニシテ倦ザル人ナリ。  
 ソノ世ニ著稱セラレ。ピートロマルチレノ画ハ。八年ニシテ  
 成リ。ラストサツパアノ救主最後ノ画ハ。七年ニシテ成ルモノナ  
 リ。日耳曼帝查爾斯五世ニ書ヲ贈リテ。我今陛下ニラスト  
 サツパアノ圖ヲ送ル。實ニ七年ノ間。毎日工夫ヲ用タルモノ  
 ナリト云リ。名手ト稱セラル。人ハ。多少ノ勉力ヲ積ミ。多  
 年ノ恒久ニ耐テ。大題ノ画乃チ作り難キノ画ヲ作ルニ由  
 テ。ソノ心手マスイ慣熟シテ。後來易ク覺ヘ。速ニ成テ。得  
 ルナリ。然レ。他人ハ。タツツノ後來画ヲ作。易シテ速ナル  
 ヲ見テ。ソノ從前ノ難シテ且久ク忍ル境界アリシヲ思  
 モノハ。少シサレバ。勿搦茶ノ爵士。嘗テ秩襄ニ一ノ半身像  
 ヲ画カン。トヲ需メシガ。十日ニシテ成リ。幾許ノ金ヲ報シ

Callcott.

自民言録

ヤト問ケレバ、五十セクインズ凡我邦ノト答フ、ワヅカ十日  
 ノ工夫ヲ費ス、ニテ求ルトコロ甚ダ多シト言バ、安日洛  
 我が十日ニシテ半身像ヲ画ク、ハ三〇年ノ間學テシカ  
 ル後得タルモノナリト答レトナリ。加兒格的ハソノ有名  
ノ口クスター名地ノ画ヲ作ル前ニ、四十度画稿ヲ改シトナリ、  
加兒格的ハ、英國ノ古勞徳法國有名ト稱セラル、ホド、丹  
 青一時ニ妙ナリ、今女王維多利亞賞スルニ奈的ノ爵ヲ以  
 テセリ。

⑤ 少年ノ聲譽ハ恃ニ足ラズ

藝業ヲ修ル人ハ、タトヒ天才衆ニ超ユト雖、凡繼續シテ勉  
 強スルニ非レハ、成就スル地位ニ至ルコト能ハズ。是故ニ工  
 藝ノ人少年ノ時聲名ヲ得ルト雖、勉強ノ功ヲ以テコレ

Banks.

ニ繼ガシテ、後來ソノ名ヲ失フモノ少カラズ。物斯的ノ事ヲ  
 引テコレヲ證スベシ。物斯的僅ニ七歳ノ時ソノ妙ノ小兒  
 搖籃ノ中ニ睡ル顔容ノ愛スベキヲ見テ、急ニ走テ紙ヲ求  
 メ、赤黒ノ墨ヲ以テコレヲ画キタリ。コレヨリ画ヲ作ルコトヲ  
 好ミ、夙ニ聲譽ヲ一時ニ得タリ。惜カナ天才卓絶スルノミ  
 ニレテ學習ヲ積ズ、艱難ニ勝ズ、試験ヲ經ザルガ故ニ、永ク  
 ソノ聲譽ヲ保テ能ハズシテ、遂ニ大家ト爲ルコト得ザリキ。

⑥ 伴克斯小童ヲ勸勵セシ事

雕像工伴克斯ハ、ソノ記號ニ勉強及ヒ忍耐ノ字ヲ用シガ、  
 實ニ自ラコレヲ行ヒ、又コレヲ人ニ勸タリ、少年ノ此技ヲ  
 好モノ來テ教誨ヲ求ルモノアレバ、懇切ニコレヲ待遇セ  
 リ。嘗テ一小童ソノ家ニ來リ戸ヲ遠シク敲ケリ、伴克斯ノ

婢女怒リテコレヲ呵叱シ、逐ヒ還サントスルヲ、伴克斯打  
 聽シテ自ラ出テコレヲ見レバ、一小童手ニ画圖ヲ持シテ  
 立テリ。伴克斯何等ノ事ノ爲ニ予家ニ來ルヤト問ハ、答テ  
 曰、予願ハ君ノ周旋ニ由テ、ゼアカデミー學藝ノ大館ニ入りテ、画圖  
 ヲ學バンント欲スト。伴克斯マヅソノ画ヲ見セラレヨトテ、  
 コレヲ觀サテ云ケルハ、汝年幼シ、アカデミーニ往テ急ガ  
 ル、ナカレ、歸ツテアポルロ神像ノ名ヲ今一段善ク画クヲ試  
 ミヨ。一月ノ後、マタ來テ予ニ示セト、コノ童子大ニ勉強シ  
 テ一月ノ後、画ヲ持シテ來ルニ、前ヨリハ善リケレバ、伴克  
 スマスミコレヲ勸勵シテ歸ラシメタリ。一七日後、マタ來  
 テ画ヲ示スニ、更ニ進歩ノ功見エケレバ、伴克斯汝悦バレ  
 ヲ。後來大名ヲ成ト必セリト許シケルガ、果テソノ言龜兆

Claude Lorraine

ノ中ルガ如ク、コノ童子ハ、即今世有名ノ画家、麥爾列第ナ  
 リケリ。

七 古勞德、羅倫、萬象ヲ以テ師トナセシ事

古勞德、羅倫ハ、勉強ニシテ倦、ナキニ由テ、山水遠景ヲ画  
 キ大名ヲ顯ハセル人ナリ。法國羅倫ニ住スル貧家ノ子ニ  
 シテ、始ハ作餅匠ノ徒弟トナリシガ、後ソノ兄、雕木工ナル  
 ガ故ニ、ソノ業ヲ學ケリ。一ノ賈客、以太利ニ往ト欲スルモ  
 ノ、古勞德ノ画ヲ好ヲ知リ、携往ント勸ケレバ、ユレニ從ヒ。  
 羅馬ニ至リ、遂ニ有名ナル画工、亞哥士知諾答西ノ僕トナ  
 リテ、画ヲ學ビ、次第ニ長進ス。後以太利、法蘭西、日耳曼ニ歷  
 遊シ、時ニ處々ニ留リ、画ヲ作りテ、路銀ヲ得タリ。羅馬ニ歸  
 ルニ及テ、聲名藉、ト甚ク、四方ヨリ來テ画ヲ請モ、常ニ已



古勞德ハ森羅萬象ヲ以テ師トナシ、勉テソノ真形ヲ寫シテ疲ルナシ、故ニ平日ノ習トシテ、房屋田土樹木花葉ノ類ヲ精密ニ描寫シ、多ク光陰ヲ費セリ。時トシテハ曉ヨリ夜ニ及マデ、蒼天ヲ仰望シ、行雲變幻ノ狀態、天色明暗ノ増減ヲ熟觀セリ。カクノ如ク常ニ工夫ヲ盡シタレバ、ソノ成就スルコト遲カリシガ、後ニ及テ、ソノ眼目ノ高キ、手藝ノ絶タルヲ、山水画工ノ第一流ト、世ニ稱許セラレ、ニ至レリ。

(八) 篤兒涅爾薄值ノ画ヲ輕ンゼザル事

篤兒涅爾マタ山水遠景ヲ画ガク名工ニシテ、英國ノ古勞德ト稱セラレ、人ナリシガ、勉強勞苦シテソノ藝ヲ修ケリ。ソノ父ハ倫敦ノ剃頭工ナリシ故、童子ノ時、ソノ業ヲ爲

ケリ。一日過客アリテ、ソノ模寫スル画ヲ見テ、大ニ感シ、ソノ父ニ勸テ、ソノ好ニ從ヒ、画ヲ學シム。篤兒貧困ノ中ニアリテ、許多ノ艱難ニ逢タレド、コレガ爲ニ屈沮セズシテ、恒ニ工夫ヲ画圖ニ用ヒ、卑下ノ事ヲ嫌ズ、心ヲ盡テ、コレヲ爲リ、サレバ喜ンデ、他人ニ傭レ、他人ノ画上ニ、インヂアインキヲ以テ、天色ヲ繪キ、一夜半ク、銀錢ヲ得、及ビ晚餐ヲ供セラル。カクシテ活計ヲ爲ナガラ、ソノ藝ニ慣熟スルコトヲ求メ、又道中記、年曆及ビ廉價ノ書ノ圖画ヲ作リ、ソノ後篤兒自ラ我昔低價ノ画ヲ繪キ、十分ニカヲ盡セシガ、コノ事我ニ於テ最上ノ習練トナレリト云リ、篤兒酬報ノ薄モ、ト雖、決シテ筆ニ任セテ塗抹セズ、必ズ心ヲ用テ、ソノ能スルトコロヲ盡ス、一画タリトモ、後日ノ作ハ、必ズ前日ノ作

ヨリ進境アラシメンコトヲ期セリ。蓋シ人カクノ如クナレバ、ソノ爲トコロ必ズ多ク、多クレバ必ス熟ス。故ニ篤氏ノ進境、旭日ノ光ノ如ク、画才益々生ジ、画境日ニ廣ク、遂ニ名工トナルニ至リ。篤氏ノ画、必シモ稱譽ヲ要セズ。ソノ英國ニ遺トコロノ集画閣、即チ篤氏ノモニュメント紀功ニシテ、永ク大名ヲ後世ニ傳タリ。

九百爾理爾警者ノ相ト爲テ羅馬ニ遊ブ

羅馬ハ技藝ノ淵藪ナレバ、藝學諸生コ、ニ遊ブコトヲ企慕セザルモノナシ。但ソノ旅程ノ費用少カラズ、學生ハ多ク貧モノナルガ故ニ、ソノ志ヲ遂ルモノ少シ。然ドモ志望深カラバ、遂ニハ羅馬ニ至ルコトヲ得ベキナリ。法國ノ画工百爾理爾コノエテルナル。レテイ羅馬ヲニ遊シト、熱心ニ思シガ、後

Perrier

Callot

ニ警者ノ羅馬ニ遊シト欲スルモノ、相者ト爲コトヲ得テ、ソノ宿志ヲ達シ、コトニテ學習ノ功ヲ積ミ、遂ニ盛名ヲ發スルニ至リ。

十加洛ノ事

法國ノ画工雕像工加洛童子ノ時、羅馬ニ往ト欲セシガ、其父コレヲ許サザリシ故、竊ニ家ヲ出テ、以太利ニ赴ケリ。固ヨリ路銀ヲ持テ出シ、コトナレバ、忽チ大ニ困難シ。ツヒニシブリース乞巧シテ廻ノ夥伴ニ入り、種々ノ危険ヲ冒シ、僅ニ福楞察一達シケリ。ソノ間、目ニ見心ニ貯タル詭形殊狀ノモノヲ、後來驚バキ雕刻ニ發出セリ。羅馬ニ在テホリテ及ビトマスシ、親熟シ、後來名工タルベシト。二人ニ許サル。一日加洛父ノ執ニ撞着シ、逼テ家ニ歸ラシメラル。加洛ナホモ安

ジテ家ニ居ル能ス。再々逃レ出シガ。株林ニ於テ其兄ニ捉  
 ラル。後ニソノ父禁止スルノ益ナキヲ知テ許シテ羅馬  
 ニ遊バシム。コトニ於テ加洛數年ノ間羅馬ニ留リ良師ニ  
 就テ画及ビ雕像ヲ學ビ。法國ニ歸ラントスル路ニシテ福榜  
 察ノ鉅商コスモ第三ニ勸ラレ留學シテ數年ヲ過ス。コスモ  
 死シケレバソノ郷土ナル南西ニ歸リソノ藝業ニ由テ聲  
 名ヲ得貨財ヲ得タリ。幾何モナク法國内亂作り南西圍レ  
 災禍ヲ受ク。利式流加洛ニコノ戦争ノ圖ヲ彫リテ望ケレ  
 度。加洛ソノ郷里ノ災ヲ表揚スルヲ欲セザル故ユレテ  
 辭シケレバ利式流怒テコレヲ獄ニ投ゼリシカルニ昔時  
 羅馬ニ往ク途中惠ヲ受タルダグレイス注上ニ一班マタ獄  
 中ニ在ケリサテ路易第十三世加洛ノ拘繫セラルヲ聞

\*Nicolas Poussin.

テレヲ赦セルノミナラス何ナリトモ求トコロヲ許ス  
 ベレト云リ。加洛因テソノ舊友ナリシダグレイス一班ヲ獄ヨ  
 リ出シ。巴理ニ在テ隨意ニ乞巧スルヲ許レシトテ請ケ  
 レバ王立ニソノ奇異ナル請ヲ聽レシカラバソノ乞巧レイス  
 ノ形ヲ刻メト命ゼラル。コレニ因テ加洛ソノ著セル雕像  
 ノ書ヲゼベツガース乞巧ト名ケタリ。路易モシ巴理ニ留ラバ  
 毎年三千里即チ銀ヲ與ベシトイハレシガ。加洛コレ  
 ヲ受クシテ南西ニ歸リソノ業ヲ務テ死ニ至リ。加洛一生  
 ノ間。整刀ヲ以テ雕刻スルモノ及ビ鋼針ヲ以テ銅板ニ鑄  
 ルモノ。一千六百ノ大數ニ至ルソノ勤勉ナルヲコレニテ  
 想像スベシ。

(十) 屋格拉士保申ノ事

法國有名ノ画家尼格拉士。保申ハ純朴ニシテ才思アリ。品行正直ナリシ人ナリ。其父ハ安埴禮ニ住スル童子師ナレバ。保申ヲ家ニ於テ教タリシガ。保申其課業ノ書或ハ石盤ニ。画圖ヲノミ寫シテ。ソノ正課ヲ怠リケリ。其村ニ一ツノ画工アリ。一日保申ノ画ヲ見テコレヲ喜ビ。ソノ好ヲ奪フ。ナカレト。父ニ勸ケレバ。コレヨリ保申コノ画工ニ就テ學ビ。幾何モナクソノ業大ニ進ミ。其師モコレヲ教ル。ト能ハザルニ至リ。保申更ニソノ技ヲ善セント欲シ。十八歳ノ時。巴理ニ赴ク途中ニテ表號ノ繪ヲ画キ。金錢ヲ得テ路資トナス。既ニシテ巴理ニ達シケレバ。保申藝術ノ新世界已ノ前ニ開ケタルニ。且ハ驚キ。且ハ勸勵シ。コレト勝ヲ争ハント欲シ。處々ノ工舖ニ往キ。畫圖ヲ寫シ。或ハ彩色ヲ施シ。勤勉

ノ功ヲ積タリ。或時羅馬ニ遊ントテ發程セシガ。福楞察ニ至ルノミニテ歸ル。其後再ビ發程セシ時ハ。立翁士ヨリ不幸ニシテ巴理ニ歸リ。カクノ如ク沈埋。勞苦。敗績。失望。ノ遭際。凡ソ十二年ヲ歴テ。遂ニ羅馬ニ至ル。トテ得タリ。○羅馬ニ於テ諸ノ老画師ニ就テ學。就中占昔名工ノ作ル像ヨリ多ク益ヲ得タリ。嘗テ雕像工ダクエスイト居ヲ同シ。古像ヲ模作スル輔手トナリ。コレニヨリテ畫格一變ス。又解剖ヲ學ビ。又人民百般ノ儀容姿態ヲ熟察シ。コレヲ描寫シ。粉本ヲ蓄ル。トテ務メ。又其暇ニハ朋友ヨリ画法ノ書ヲ借讀セリ。○ユノ時。保申甚タ貧カリシカバ。ソノ画ヲ賤ク賣リ。先知者ノ一人ノ画像ヲ。八フランクニテ。プレーグヲフスイリスタインスノ画ヲ。六十フランクニテ賣リ。後ユノプレーグノ画ヲカルヂナル

法官利式流一千フランクニテ買シトナリ。保申マタ劇疾ニ  
 肩レ一友ヨリ厚ク賑給ヲ受シカバ。後一ノ名画ヲ作りユ  
 レニ酬ユツノ画ノ價病中受ルトコロノ金ヨリ倍蓰セル  
 モノナリトゾ。○保申マタ福楞察及ビ未屈斯ニ遊ビツノ  
 画學ヲ廣メタレバ。ツノ画マス。妙絶ヲ極メ。聲名四方ニ  
 聞ユ。然ドモ保申ハ静退ヲ嗜ミ。交際ヲ好ズ。時ニ野外ニ閑  
 歩シテ作ルベキ画ノ趣向ヲ思ヘリ。羅馬ノ地喧囂ナラザ  
 ル。ツノ性ニ適シタレバ。ユ、ニ於テ妻ヲ娶リ。終焉ノ志  
 ヲ抱ケリ。既ニシテ保申屢々法國ヨリ王ノ画面ノ長ニ爲  
 ス。バシトテ招ル。始ハコレヲ辭セシガ。後ツヒニ巴理ニ歸  
 リ。ツノ名画ト稱セラレタル襍未耶ノ像。バプチスムノ圖。ラスト  
 サッパノ圖ハ。ユノ時ニ作り。巴理ノ画匠保申ヲ妬ミ。起テユ

John Flaxman.

レニ敵スルモノアリケルヲ厭シキ。一ニ思ヒ。二年ニ滿ズ  
 シテ。羅馬ニ歸ル。其後疾病ニ惱レシガ。画學ノ益巧妙ニ至  
 ン。トヲ務メ。コレヲ以テ痛苦ヲ忘レ。心思ヲ慰ケリ。保申自  
 ラ「余年愈老ルニ隨ヒ。極善極妙ノ域ニ至ラント欲スルハ念  
 愈燃ルガ如クナル。トヲ覺ユト云ケリ。保申子ナシ。其妻ユ  
 レニ先テ死ス。朋友マ々凋落シ盡テ。孑然一身トナリ。一千  
 六百六十五年。寛文養老ノ資トシテ。存貯セル一千クラウン  
 銀錢ヲ。ツノ故郷ノ親家ニ遺シ與ヘ。許多ノ好画ヲ。世上ニ  
 存留シテ。ツノ天年ヲ没タリ。

① 戎弗拉吉士面ノ事

英國有名ノ雕像工戎弗拉吉士面ハ。倫敦ユグメントガーデンニ住  
 スル白土ノ像ヲ賣ルモノ。子ナリ。小兒ノ時。痿弱ニシテ行

歩スルヲ能ズ。故ニ常ノ習トシテ。枕ニ倚リ。店面賬櫃ノ後。  
 ニ在リテ。圖ヲ画ガキ書ヲ讀ケリ。牧師ノ法教。馬竇士ハ仁心  
 アル人ナリシガ。一日ユノ舖ニ來リ。小兒ノ書ヲ讀ヲ見テ。  
 何ノ書ヅト問ケレバ。ユ子リウス。子ポスニシテ。ソノ父擺書舖  
 ニ於テ。少許ノ邊士ノ銅錢ニテ得タルモノト答フ。馬竇士ユ  
 ノ書ハ汝ノ讀ニ宜モノニ非ズ。我他ノ書ヲ持來ベシト云  
 テ。明日英譯詞墨爾ノ詩及ドクイキヲ以テ與ケレバ。小  
 兒大ニ喜ビ熱心ニコレヲ讀ミ。忽チ古詩中ニアル英雄ノ  
 像ヲ模造セント思ヒ起セリ。  
 始テ作ル諸ノ圖ハ生粗ナリシガ。其父コレヲ有名ノ雕  
 像工路被畧ニ示シケルニツ。賤ハル時ト云テ輕賤セラ  
 ル。然レユノ小童勉強忍耐ナリケレバ。次第ニ進ミ。自土ヲ

以テ像形ヲ造。一ヲ始タリ。此時作リシモノ今日ニ至マテ世  
 ニ奇珍トセラル。コレソノ工善ナルニ由ニ非ズ。痿弱ノ小  
 童ニテ能コレヲ作タレバナリ。カクノ如ク工藝ヲ勉タル  
 一。其身體ノ補益トナリ。漸ク杖ニ倚テ。行歩スルトテ得。後  
 ニ。強健ニシテ杖ヲ用ザルニ至リ。馬竇士其後弗氏ヲ家  
 ニ招キ。其妻ヲシテ。詞墨爾及彌爾敦ノ詩ヲ解説セシメ。又  
 コレニ拉丁語希臘語ヲ教タリ。弗氏勉修ノ功ニ由テ。ソノ  
 藝事大ニ進ケレバ。一夫人ヨリ始テ。詞墨爾ノ詩意ノ圖像  
 ヲ作ラントテ托セラル。凡ソ始テ托セラルモノヲ作。一。工藝  
 ノ人ニ於テ。ソノ關係ノ大ナル一。何バカリヅヤ。外科醫ノ  
 始テ病人ヲ托セラル。一。狀師ノ始テ訟事ヲ托セラル。  
 一。立法者ノ始テ公會ニ於テ論辯スル。一。唱歌者ノ始テ場

ニ登<sup>ル</sup>。著書家ノ始<sup>メ</sup>テ書<sup>ヲ</sup>公<sup>ニ</sup>スル<sup>ト</sup>。何<sup>モ</sup>聲名<sup>ニ</sup>關係<sup>ス</sup>ル。一生ノ大事ナリ。サレバ。コノ童子カヲ極<sup>メ</sup>テコレヲ作<sup>リ</sup>ケレバ。大ニ賞譽セラレ。又厚<sup>キ</sup>酬報ヲ得<sup>タリ</sup>。

弗<sup>ラ</sup>吉<sup>キ</sup>士<sup>ス</sup>面<sup>シ</sup>十五歳ノ時<sup>ニ</sup>。ロ<sup>イヤル</sup>アカ<sup>デミ</sup>イ<sup>イ</sup>藝術<sup>ノ</sup>ニ入<sup>リ</sup>。生徒トナル<sup>ト</sup>。

弗<sup>ラ</sup>氏<sup>ス</sup>天性謙退ナリシガ。諸生ノ中ニアリテ。嶄<sup>ザ</sup>然<sup>ト</sup>シテ頭角ヲ露<sup>ス</sup>シ。老師皆ソノ大成ヲ期<sup>ス</sup>。十五歳ニシテ銀ノ

匾<sup>ハ</sup>圓<sup>ヲ</sup>賞賜セラ<sup>ル</sup>。ソノ次年金ノ匾<sup>ハ</sup>圓<sup>ヲ</sup>得<sup>ベ</sup>キモノハ必<sup>ズ</sup>弗<sup>ラ</sup>氏ナラント衆人ニ言<sup>レ</sup>シガ。中<sup>ラ</sup>ズシテ他ノ生徒コ

レヲ得<sup>タリ</sup>。凡<sup>ソ</sup>少年ノ功名ヲ躡<sup>ク</sup>ハ却<sup>ッ</sup>テソノ進益ト爲<sup>ル</sup>トナ<sup>リ</sup>。柯<sup>ハ</sup>ニトナレバ。堅志ノ人ハ。敗績ニ由<sup>リ</sup>テ志氣ヲ失<sup>ス</sup>。ソノ

度ゴトニ。眞實ノ勢力ヲ引<sup>キ</sup>起<sup>ス</sup>トナ<sup>リ</sup>。弗<sup>ラ</sup>氏<sup>ス</sup>ソノ父ニ向<sup>ヒ</sup>。待<sup>ト</sup>玉<sup>ヘ</sup>予<sup>必</sup>ズ<sup>ス</sup>。ア<sup>カ</sup>デ<sup>ミ</sup>イ<sup>ノ</sup>光榮トナルベキホドノ像ヲ作<sup>リ</sup>出<sup>ス</sup>。

ベシト言<sup>リ</sup>。コレヨリ一倍ノ工夫ヲ下<sup>シ</sup>。辛苦ヲ惜<sup>マ</sup>ズ。思<sup>フ</sup>ヲ屬<sup>シ</sup>。稿ヲ作<sup>リ</sup>。著實ニ勉強ノ功ヲ積<sup>メ</sup>リ。然<sup>ル</sup>ニコノ時<sup>ニ</sup>。其父

白土ノ像ヲ作<sup>ル</sup>工業。一家ヲ養<sup>フ</sup>ニ足<sup>ザ</sup>リケレバ。弗<sup>ラ</sup>氏<sup>モ</sup>ト我慢ノ心ナク。自<sup>私</sup>スルノ意ナキ人ナル故<sup>ツ</sup>。ハ雕像ヲ學<sup>ブ</sup>。

光陰ヲ減<sup>シ</sup>テ。其父ノ賤業ヲ助<sup>ケ</sup>。訶<sup>ハ</sup>墨爾<sup>ヲ</sup>抛<sup>テ</sup>。白土<sup>ノ</sup>鑊<sup>ヲ</sup>持<sup>シ</sup>。産業ヲ營<sup>ミ</sup>ケ<sup>リ</sup>。然<sup>ル</sup>ニコノ事<sup>ニ</sup>弗<sup>ラ</sup>氏<sup>ノ</sup>雕學ヲ爲<sup>ル</sup>妨<sup>ガ</sup>トハナラズシテ。却<sup>ッ</sup>テソノ益トナ<sup>レ</sup>リ。蓋<sup>シ</sup>コノ事<sup>ニ</sup>弗<sup>ラ</sup>氏<sup>ヲ</sup>シ

テ。勞苦ノ業ニ習<sup>ヒ</sup>。忍耐<sup>ノ</sup>精神ヲ長<sup>ゼ</sup>シメ。又ソノ身體ヲシテ堅實強壯ナラシメタリ。

弗<sup>ラ</sup>吉<sup>キ</sup>士<sup>ノ</sup>面<sup>ノ</sup>圖稿ニ巧<sup>ナル</sup>ト。空<sup>ク</sup>地<sup>ノ</sup>烏<sup>ノ</sup>德<sup>ニ</sup>聞<sup>ケ</sup>。バ。空<sup>ク</sup>氏<sup>ノ</sup>コノ少年ヲ用<sup>ヒ</sup>テ。陶器ノ圖形ノ粉本ヲ作<sup>ラ</sup>シメン<sup>ト</sup>ヲ望<sup>ミ</sup>リ。

ソレ弗<sup>ラ</sup>氏<sup>ノ</sup>如<sup>キ</sup>名工<sup>カ</sup>。ル賤<sup>ト</sup>ヲ爲<sup>ル</sup>ハ。惜<sup>ム</sup>ベシト云<sup>フ</sup>。人モ

アルベケレ用。決シテ然ズ。尋常ノ茶壺水瓶等ノ圖稿コソ、  
 巧妙ノ工人ノ作ルベキモノナレ。何ニトナレバ。人生毎日  
 飲食ノ間。目ニ觸ル器物ハ。萬民ノ教トナルベキヲ目的ト  
 シテ造ルヲ要ス。蓋シ入常ニ工妙ノ画ヲ觀ルトキハ。眼目  
 自ラ高クナルノ益アリ。是故ニ畫工ノ志氣高モハ。富人  
 ノ爲ニ數千金ノ画ヲ作シヨリハ。寧國入ノ公利トナラン  
 ガ爲ニカヲ惜ズシテ。日用器皿ノ画稿ヲ造リヨシ他ナシ。  
 千金ノ画ハ。高堂華屋ノ中ニ幽閉セラレ。衆人ノ觀覽ノ及  
 ブ不能ザルトコロナレバナリ。空地烏德ノ時マデハ。陶器  
 粗醜ニシテ。ソノ畫圖。マタ拙惡ナリシ故。空氏ハニナガラ  
 コレヲ精巧ニ爲ベキヲ求メタリ。空氏往古ノ希臘奚土  
 拉斯干其他美好ノ陶器ヲ集メ。又古詩古史ニ存スル様形

ヲ查出シ。弗氏ヲシテコレヲ師法トナサシメケレバ。弗氏  
 勉強シテコレニ倣ヒ。又加ルニ新意ヲ以テ。ソノ圖形ヲシ  
 テ日ニ益々精善ナラシメタリ。後來弗氏コノ時ノ事ヲ言  
 テ。予少時陶器ヲ画ガキシニ由テ。美巧ノ物ヲ愛スルノ心  
 ヲ養フヲ得タリ。マタ廣ク人民ヲシテ。ソノ眼目ヲ高シ。圖  
 画ノ趣味ヲ解スルヲ得セシメタリ。マタコレニ由テ。我  
 囊橐空虚ニ至ラザルヲ得。而メ又吾友空氏ヲシテ。ソノ  
 目的ヲ達セシメ。ソノ工業ヲシテ繁盛ナラシムルヲ得  
 タリト云リ。

弗拉吉士面二十七歳ニ及デ。婦ヲ娶ル。ソノ名ヲ安田曼ト  
 イフ。温和端正ニシテ。詩画ノ趣ヲ解セルモノニテ。深ク弗  
 氏ノ才ヲ愛セリ。弗氏新婚ノ後。藝術學院ノ監督ナル禮諾



爾圖ニ路ニ逢リ、禮氏ハ有名ノ画家ニテ婦ヲ娶ザル人ナリ。禮氏弗氏ニ謂テ曰、足下婦ヲ娶リシト聞リ、果テ爾ラバ、足下ノ藝ハコレガ爲ニ敗レタリト言フ。弗氏速ニ家ニ歸リ、其妻ノ側ニ坐シ、其手ヲ執テ、安我藝事ハ敗レタリト云バ、安即チ戒クハ何事ノ起リタルヤ。誰ガコレヲ敗リシヤト怪ミ問フ。弗氏ユレ寺院ニ於テ起リ、安田曼吾藝事ヲ敗リタリトイヒテ、具ニ禮諾爾圖ノ持論ヲ語り、且曰ク、學生工藝ヲ修メ、絶妙ノ地ニ至ラント欲セバ、全體ハ心カヲ出シ、藝事ヲ擔負ス。ミン曉起ヨリ、夜眠ニ至マデ、一刻ノ間斷ナカ、ルベシ。且羅馬ニ遊ビ、拉輝列及ビ彌開爾、安日洛ノ名作ヲ學ザレバ、雕工ノ大人ト成ルコト能ハスト語リ畢テ、自ラツハ短小ノ身ヲ聳起シテ、我雕工ノ大人トナラント欲スト云

バ。安答テ君ハ實ニ雕工ノ大人トナリ玉フベシ。君ノ藝業ヲシテ大ナラシムルタメナラバ、羅馬ニ遊ビ玉ヘトイフ。弗氏然ラバ何ニシテユレヲ爲シ得ンヤト云フ。安曰ク、藝業ヲ勉メ、儉約ヲ務メテ、ユノ願ヲ遂玉ヘ。安田曼ガ弗拉吉士面ノ藝事ヲ敗タリト人ニ曰、レシハ予ニ於テ口惜キコナリト答フ。弗氏シカラバ、我行資備辦セバ、羅馬ニ向テ發程シ、禮諾爾圖ヲシテ、結親ノ事ハ、人ノ害トナラズシテ、却テ人ノ吉利トナルコトヲ知シムベシ。汝安我ト偕ニ遊ベシト言ヘリ。

コノ後五年ノ間、夫婦コノ目的ヲ達センガ爲ニ、一錢ト雖モ空ク費スコナク、マタ他人并ニオダシイヨリ救助ヲ受ルコトナクシテ、旅資ヲ貯ヘ、遂ニ兩人ニテ羅馬ニ赴キ、心カヲ

盡シテ、雕像ヲ學ビ、古像ニ倣ヒ、式樣ヲ作リ、テ過活ヲ爲リ、英國ノ人ヲノ工舗ニ來リ、古像ノ式ヲ模スルヲ托スルモ、少カラズ、コノ時、訶墨爾、以斯吉拉斯、檀的ノ形像ヲ美麗ニ造リシガ、僅ニ十五シリングニテ、一箇ヲ賣リ、又托馬士、荷布ノ爲ニ、キユレド、ブローラノ像ヲ作り、伯律士、土爾ノ公ノ爲ニ、亞答瑪斯ノ像ヲ作り、

弗拉吉士、面大名ヲ荷テ、倫敦ニ歸リケレバ、雕像ヲ托セラ、ル、一益多シ、フレガ中ニモ、勞爾德、曼士、非爾德ノ記念碑ノ像、ウエスト、ミンスター寺院ノ北角ニ建ルモノ、尤モ名作ト稱ス、即チ弗氏ノエカヲ顯ス、記念碑ト云、モ可ナリ、ロヤルアカデミー、大藝術會社ノ人、弗氏ノ歸ヲ聞キ、又マンス、フィールドノ像ヲ觀テ、コレヲソノ會社ノ籍ニ入シガ、幾何、モナシ、ロヤルアカデミー

\*David Wilkie.

ノ雕像ノ學師ニ任ゼラレタリ、抑モ白土像ヲ造ル小兒、偏ニ自己ノ力ニ倚仗シ、無數ノ難事ニ勝得テ、遂ニカ、ル崇高ノ地位ニ外ル、一豈ニ尊ベキ事ナラスヤ、コノ後弗氏多年平穩ニ日ヲ送ケルガ、ソノ婦安死シテヨリ大ニ身體ノ和ヲ傷リ、一千八百二十六年、文政没セリ。

(十三) 維爾啓談話ヲ好ザル事

蘇國有名ノ畫工大關、維爾啓ハ、忠厚ニシテ、藝業ヲ勉ムル人ナリ、其父ハ牧師法教ナリシガ、維爾啓童子ノ時ヨリ、偏ニ画ヲ好ミ、面目形狀ヲ描寫シコレヲ以テ樂トナシテ、其他ノ學問ヲ勉ザリケリ、ソノ人トナリ、靜黙ニシテ、談話ヲ好ス、故ニ神明外ニ馳スシテ、才思内ニ醞釀セリ、ソノ心時トシテ、處リシテ、画圖ニアラザルコトナシ、常ニ機會ヲ求テ、コ

レヲ作り、故ニ家中ノ墻壁、及水邊ノ平沙、山畔ノ滑石、皆ツ、  
 ノ紙布ナリ、眼前手ニ當ル物、皆ツノ画筆ナリ、凡ツノ遇ト  
 コロノモノ、襪褌ナル乞丐ト雖モ、畫ツ、ハ画料ナリ、他人ノ  
 家ニ至トキハ、必ツノ壁間ニ圖形ヲ殘ス、故ニコノ童子ノ  
 過トコロノ痕跡ナリトテ、頗ル人ニ嫌ル、其父始ハツノ職  
 ヲ繼シメント欲セシガ、ツノ益ナキヲ知り、遂ニ画工トナ  
 ラシムルヲ許セリ。  
 既ニシテ維爾啓ハ畫丁不<sub>レ</sub>ノアカデミイ大學院ノ弟子ノ負ニ  
 補セラレント欲シ、ソノ画ガケル圖ヲ出シケルガ、ツノ生  
 疎ナルヲ以テ、選ニ預ルヲ得ズ、コレニ由テ、久ニ耐テ善  
 画ヲ作り、遂ニアカデミイニ入<sub>ル</sub>ヲ得タリ、維爾啓他ノ少年ノ  
 驕傲ニシテオヲ恃ガ、如ハ癖習アラズ、心ヲ專ニシテ藝業

ヲ勉修セリ、ソノ常ノ言ニ、予ノ画ニ於テ進境ヲ得タルハ、  
 他ナシ、勉強シテ己ザルニ由<sub>ル</sub>ニト云リ、ソノ聲名漸ク顯  
 ル、ニ隨ヒ、画ヲ乞<sub>フ</sub>モノ日ニ多カリシガ、舊ニ仍<sub>リ</sub>テ貧困ナ  
 リ、其故ハ酬値ノ薄モノト雖モ、草率ニ筆ヲ下<sub>ス</sub>ナシ、必ズ  
 幾回トナク圖稿ヲ改メ、苦心ヲ悉シ、時日ヲ費シテ、然後ニ  
 手ヲ脱セリ、禮諾爾圖ト同ク、ソノ表識ノ語ニウラルク、ツラ  
 ルクウラルク、勞作々々々々ト云ル語ヲ用タリ、又禮氏ト同  
 ジク世ノ談話ヲ好ム、画工トナルマシト思リ、故ニソノ言  
 ニ談説スルモノ種ヲ播キ、静默ナルモノ菓實ヲ收ムト云  
 ケリ、○維爾啓始テ勞爾德曼士非爾德ヨリ画ヲ托セラレ、  
 三十金ヲ得タレバ、コレヲ以テ婦人ノ冠帽衣裳ヲ買テ、ソ  
 ノ母トソノ姉トニ獻ゼリ、蓋シ維爾啓早年ヨリ貧窮ニ長

Martin

シテ、ノ身ハ嚴ク儉約ヲ行、ドモマタ、カクノ如ク、ソノ所  
生ト同胞トノ爲、ニ金ヲ散シテ慙ル色ナキハ、真ニ稱贊ス  
ベキナリ。

④画工馬爾珍大画ヲ作ル時屢餓死ニ迫事

困窮ハ工藝ヲ學ブ人ノ勇剛忍耐ヲ試ルモノナリ、古ヨリ  
極窮極困ニ逢ト雖、コレガ爲ニ退縮セズシテ、ソノ藝業  
ヲ成就スルモノ多ク、コレアリ、然レ困窮ノ爲ニ艱難ヲ忍、  
能ズシテ、敗績沈没スルモノ、其數亦多カルベシ、画工馬爾  
珍ノ遭際ノ如ハ、十分ノ勇剛、十分ノ忍耐ニアラザレバ、恐  
ハ消沮シテ廢退スベキナリ、馬爾珍始テソノ大画圖ヲ作  
ケル時、餓死ニ迫、屢々ナリキ、或時數日食ズシテ飢ニ迫  
ケレバ、囊中僅ニ一銀錢アリシヲ以テ、麵包ヲ買去ントセ

James Sharples

シカバ、店主人忽チ批留テ、其麵包ヲ奪ヒ、錢ヲ擲還ス、抑モ  
コノ銀錢ハ、ソノ光燦然タルカ故ニ、殘シ置タリシモノニ  
テ、ソノ惡錢ナリトハ、毫モ知ザリシナリ、悵然トシテ、寓舎  
ニ歸リ、櫃ヲ傾ケ、辛シテソノ麵包ヲ集メ、僅ニソノ喉吻ヲ  
濕セリ、然レソノ後數日ヲ過テ、ソノ画圖成就シケレバ、ユ  
ノ時ヨリシテ、聲名ヲ發シタリ。

⑤惹迷斯沙不爾士鑄鐵工ニテ画工雕工ヲ兼ル事

沙不爾士ハ、一千八百二十五年、文政約克舍ニ生ル、鑄鐵工  
ノ子ナリ、後ニ拔禮ニ移リ、同胞十三人アリテ、一モ郷塾ノ  
教ヲ受ルモノナシ、少ク長ズルニ及デ、皆工事ヲ爲リ、沙氏  
十歳ノ時ヨリ父ヲ助テ勞作スル、屢常ニ曉六時ヨリ夜  
八時ニ至リ、後ニ大金ヲ鑄ル工匠ノ徒弟トナリ、ソノ家ニ

往テ服役スル時、工場ノ頭人、自ラツノ作ル釜ノ圖ヲ持シ、沙氏ヲシテ、作場ノ地板ニ、要用ノ廣ニ圖ヲ引シメシガ、漸々ニコノ事ニ習ヒ、頭人ノ爲ニ大ナル助トナル。家ニ歸リテ暇アル時ハ、地板ニ白灰ヲ以テ釜ノ圖ヲ画ガケリ。一日ソノ母一親家ノ婦、遠方ヨリ來訪スルモノヲ款接セントテ、客堂ヲ整頓シ置タリシガ、沙不爾士晩夕ニ鑄鐵場ヨリ歸リ、例ノ如クニ圖ヲ造ルヲ始タリ、カクトモ知ラズシテ、ソノ母ソノ客ヲ延來リ、白灰地板ニ狼藉タルヲ見テ、大ニ驚駭ス。然ニソノ親家ノ婦、却テコレヲ賞賛シ、沙氏ノ爲ニ紙筆ヲ與ヘ給ヘトソノ母ニ勸メタリ。

沙不爾士コレヨリ山水遠景ヲ画ガクヲ學ビ始シガ、未ダ分間ヲ測ル法ヲ知ラズ、又光ト影トノ理ヲ知ラズト雖、次

第二画本ヲ寫スニ慣熟セリ。十六歳ノ時、拔禮ノ工學院ニ往キ、屢々他人ノ圖ヲ作ルヲ觀テ、進益ノ助トナス。剃頭工ニテ画ヲ好ム人、沙氏ノ師トナリテコレヲ教フ。ユノ師沙氏ニ勸テ、培納的ノ画學書ヲ借讀セシム。然ニ沙氏未ダユレヲ容易ニ讀ム能ハザリシ故、ソノ母及ビ兄ニ請ヒ、コレヲ讀シメテ聽ケリ。沙氏自ラ讀ムアタハザルヲ痛ミ、暫時ノ間、家ニ於テ、専心ニ書ヲ讀ミ、字ヲ作ルヲ習ヒ、ソノ後再ビ工學院ニ往キ、培納的ヲ借來リシニコノ回ハ獨リ讀得ルノミナラス、ユレヲ抄寫シテ、後日ノ用ニ供スルヲ得タリ。サレバ曉四時ヨリ起テ、培納的ニ從事シ、六時ヨリ鑄鐵場ニ往キ、晩六時或ハ八時マテ勞作シ、歸レバ復精神ヲ振起シ、且讀ミ且抄ス、或ハ名工ノ画ヲ寫シ、中夜ニ至ル。

レヲナルド。ダ。ウインシ以太利有ノラストサノ画ノヲ寫セシ時ノ  
 如キハ。終夜ヲ過ス。蓋シ沙氏床ニ上レドモ。コノ画胸中ニ  
 往來シテ眠。一能ハズ。故ニマタ起テ筆ヲ把レリ。  
 沙不爾士ノ後。油畫ヲ作ル。ヲ學バント欲シテ。カンバス  
 画ニ用。布ヲ買ヒ。画架ニ張リ。白鉛ヲ塗リテ。始テ色料ヲ加ヘ  
 シニ。布粗ク。彩色乾カズレテ全ク敗ヲ取リ。因テコレヲ嘗  
 テ師トシタル剃頭工ニ問ケレバ。油畫ニ用ルカンバス画及  
 ビ彩色漆ハ。別ニツレガ為ニ備タルモノヲ買フベシト云  
 リ。沙氏以上ノ諸品ヲ辛シテ買得テ。画師ヨリ。又コレヲ用  
 テ画ガクノ方法ヲ教ラレ。勉勵シテ已ザリケレバ。幾何モ  
 ナク。剃頭工ノ寫セル画ニ愈ルニ至ル。フノ始テ作ル画ハ。  
 羊毛ヲ剪ル圖ナリシガ。ソノ後半クラウンノ價ニテ賣タリ

レトナリ。沙氏鑄鐵場ニ於テ。工事ヲ畢テ後。毎ニ屢々晩暮  
 ヨリ。滿ミ透ト士打マテ往返十八里ノ路ヲ行キ。ワヅカ二三時  
 令バカリノカンバス及ビ色料ヲ買ヒ。家ニ歸レバ。中夜ニ及  
 ベリ。時トシテハ雨ニ濡ヒ。大ニ困憊ス。然ドモ名工トナラ  
 ント欲スル志望深カリケレバ。カクノ如キ勞苦ヲ事トモ  
 セズシテ。一意ニ藝業ヲ修タリ。コレニ繼テ功カヲ用シテ  
 ハ。沙氏ノ余ニ寄タル書中ニ詳ナレバ。次ニ之ヲ録出セリ。  
 予コノ次ニ。月夜ノ遠景及菓實ノ画等ヲ作シガ。ソノ後。鑄  
 鐵場ノ圖ヲ作ラント思ヒ起セシカバ。紙上ニ画稿ヲ造リテ。  
 コレヲカンバス画ニ画ガクヲ始タリ。ソノ大段ヲ画ガキ  
 シ後。予思ニ解剖ノ學ヲ知ザレバ。人ノ筋骨ヲ描寫スル  
 能ハスト。因テコレヲ學バント欲セシニ。幸ニ吾同胞ハト

予ガ爲ニ弗拉吉士画ノアナトミカルス多チス人體ノ醫學書ヲ買ヒタリ  
 コノ時予ガ力ニテコノ書ヲ買フ能ハス蓋シ二十四時令  
 ノ價ナリ予コノ書ヲ視ル寶庫ノ如ク勉強シテコレヲ  
 學ビ曉三時ニ起テコレヲ模寫シ時トシテハ急ニ同胞  
 各ヲ喚ビ起シ吾爲ニ立シメテコレヲ模形トナセリソノ  
 後予マタ思フニハ予ペルスベクチーヴ分間ヲ測リテ遠景及ビ  
宮室等ヲ画キ距離ヲ顯  
 ハス法ノ術ヲ知ラザレバ鑄鐵場ノ分間ヲ切ニ画ガク能  
 ハズト因テブルークタイロル人名フリンレブル書名ヲ細心ニ學習シ  
 然後ニ前功ヲ繼ギ再ビコノ圖ニ従事セリ予ペルスベクチーヴ  
 注トニ見ユヲ學ブ時ニ當リ晝間鑄鐵場ニ於テ最モ重キ鐵ノ  
 工事ヲ求テコレヲ操作セリコレ予ニ於テ別ニ道理アリ  
 最重キ鐵ヲ炙熱スルハ最モ久キ時限ヲ要シ最モ輕キ鐵

ハ最モ短キ時限ヲ要スリレバ一日ノ間重鐵ヲ操作スレ  
 バ熱度ニ至ルヲ等候スル時限多ク生スルナリコノ時限  
 ヲ謹ミ用ヒテ火爐前ノ鐵板上ニペルスベクチーヴノ分間圖ヲ  
 畫シコレヲ學ビケリ  
 上ニ云ル如ク苦志勉力シテ画圖ノ根理ヲ學ビタレバソ  
 ノ後功夫ヲ用ルル大ニ易キヲ覺タリ既ニシテ工場徒  
 弟ノ限期盡タル後ソノ父ノ像ヲ画ガキ郷里ニ譽テ得鑄  
 鐵場ノ圖モ成就シタリマタ工場ノ頭人ヨリソノ全家團  
 樂ノ圖ヲ托セラル圖成リテ善カリケレバ始メ約セシ價十  
 八封度ノ外ニ三十時令ヲ増テ酬ラルコノ後專ラ圖畫ヲ  
 以テ業ト做ント欲セシガコレノミニテハナホ閑隙アリ  
 シカバマタ華裙ヲ垂テ打鐵匠ノ事ヲ爲シ正經ノ利ヲ臆

ケ得タリ。又ソノ餘暇ヲ用テ。自ラ鑄鐵場ノ圖ヲ。鋼板ニ雕刻シ。コレヲ世ニ公ニセリ。沙氏自ラソノ雕刻ヲ始メ。ヨリ成就ニ至ルマデノ事ヲ述ブルモノアリ。次ニ録出ス。予嘗テ偶々シエツフィールドノ鋼板匠ノ告示ヲ見タルニ。大小各版ノ價ヲ載タリ。ソノ中ヨリ吾ガ用ント欲スルモノヲ定メ。ソノ價ヲ送り。又若干ノ金ヲ附送シ。コレヲ以テ雕刻ノ器具ヲ買。ソノ望ミケリ。既ニシテソノ鋼板并ニ三四箇ノ小刀鋼針。至リケレバ。予因テ画ヲ刻スルヲ始ム。然ニコレヲ爲甚ダ難ク且。遅カリシガ。後ニコレハ全ク器具ノ備ラザル故ニ由。ソノ經驗シテ知リ。因テ吾意ニ中ル器具ヲ造ルヲ試ミシガ。屢々失敗シタル後。器具ノ良モノヲ製シ出セリ。予素ヨリコノ事ヲ暇餘ニ爲。ソナレバ。繪画

ノ事忙ハシキ時ハ。久シキ間コレヲ廢セザルヲ得ズ。因テ銹ノ生ゼ。ソノヲ恐レ。コレヲ防ガンガ爲ニ。雕タルトコロニ常ニ油ヲ塗タリ。或時久廢ノ後。出シテ見ルニ。油粘塞シタルバ。針ヲ以テ。試ミニコレヲ除クニ。新ニ雕刻スル如キ工夫ヲ費セリ。コハ。ニ於テ悵然トシテ意ヲ失ヒガ。後ニ及デ。ソノダヲ入。タル水ヲ煮テ。コレヲソノ中ニ入レ。齒刷ヲ以テコレヲ揩摩スレバ。油垢除去ベシト。幸ニ想中リテ。コノ難事ヲ脱シ。過タリ。蓋シ予鋼版ニ画ヲ雕ルハ。始ヨリ終ニ至。マデ他人ヨリ學バズ。他人ノ助ヲ假ラス。全ク吾ガ自己ノ堅志勉力ニ賴テ成就スルヲ得タレバ。コレ實ニ予ノ功勳ト云ベシ。

沙氏自ラ家中ノ情景ヲ述タル語アリ。曰ク。余婦ヲ娶リシ



以來已ニ七年ヲ經タリ。毎日鑄鐵場ニ在テ勞作ノ事ヲ竟テ後畫筆ヲ執リ或ハ鋼刀ヲ持シ往々深更ニ至ルニ吾妻ハ吾側ニ坐シテ予ガ爲ニ有用ノ書ヲ讀ム予コレヲ聞ナガラニ工藝ノ事ヲ爲シ豈ニ快樂ノ最モ大ナルモノナラズヤトカクノ如キ誠朴ニシテシカモ美麗ナル實話ハ尋常ノ人モコレヲ聞テ感ズベク工人ノ才智アリ實心アル人コレヲ聞バ最モ肺腑ニ沁スベキナリ沙氏ハ生存スレナリ歳

⑤有名ノ樂師殫勉ニシテ倦ザル事

畫工・雕像工ノ絶妙ノ地位ニ達スルモノハ上ニ顯ハセル數人ノ如ク專一ニ勉強學習スルニ因レル事ナリコトニ音樂ノ一藝アリ画及ビ雕像ト技藝ノ兄弟タリ蓋シ彼ハ

形色ノ詩ニシテ此ハ聲音ノ詩ナリコレヲ學デ絶妙ニ臻ル亦專心勉力ヲ要ス日耳曼ノ樂師罕埵爾ハ殫忍ニシテ倦ス失敗ニ遇テモ沮喪セズ患難ノ至ルゴトニ益々勢力ヲ長スル人ナリ嘗テ債ヲ負ヒ償フコト能ハズシテ家中ノ物ヲ搶奪セラレシガ罕埵爾ノ時樂曲ヲ作ルコトヲ暫モ廢セズ一年ノ中ニ幼妙ナル樂曲數種ヲ著ハセリソノ傳ヲ作ルモノ言ニ罕埵爾ハ何事ニテモ敢テ爲トコロノ氣象アリ一己ノ力ヲ以テ十二人ノ事業ヲ成就シタリト云リ罕埵爾一千七百五十九年(實曆九年)倫敦ニ在テ没スヲ以テノ生ハ五十九年(實曆九年)卒氏没後百年ニ在テ没ス利ニ於テ罕埵爾ノ追憶トシテ節宴ヲ設ケ行ヒタリ日耳曼ノ樂工海曇自ラソノ技藝ノ事ヲ語テ一事ヲ始テ追逐繼續スルニ由テ成就ストイヘリ○日耳曼ノ樂師莫備托反

ノ格言ニ才能及ビ勉強ヲ貪リ求ルコトニコレヨリ遠クニ  
 至リテ許サズト志セル界石ハ立テアラストイヘリモスケ  
 ズ楽曲ノ草藁ヲ備托反ニ送リソノ是正ヲ請ケルガ備氏  
 抄本ノ尾ニ上帝ノ助ヲ以テ功ヲ完セリト書シテアリシ  
 ヲ見テマタソノ下ニ嗚呼人汝自ラ助ヲヨト書セシトナリ  
 コノ一句ハ備氏平生用ルトコロノモット表識ナリ戎設巴  
 士丁拔克日國自ラ自己ヲ評シテ予ハ勤勉ナリ誰ニテモ  
 勤勉ナルモノハ予ガ如キノ成功アルベシトイヘリ拔克  
 樂ヲ好ミ嗜慾ノ如シコレ實ニソノ勤勉ナル所以ノ源ニ  
 シテソノ成就スル所以ノ秘事ト言ベシ幼年ノ時夜ニ當  
 リ蠟燭ヲ點スルコトヲ許シレザリシ故月光ニ映シテ音樂  
 ノ書ヲ寫セシトナリミエルベイルハ毎日十五時ノ間樂ヲ學

ビシト云傳フ。

斯邁爾斯自助論第六編終

斯邁爾斯自助論 一名西國立志編

第七編 貴爵ノ家ヲ創タル人ヲ論ズ

門的勞士ノ詩ニ曰事功ヲ敢テ擔任セザルモノハ凶禍失敗ヲ恐ルノ念甚ダ多クシテ竟ニ大勲績ヲ奏スルコト能ハズ聖路加曰彼スデニ權力アル人ヲシテソノ席ヨリ下ラシメ又側陋ノ人ヲシテ崇高ノ位ニ外ラシメタリ

○古者尊貴ノ族今ハ多ク平民ニ混スル事

凡ソ人ノ血統盡ク皆往古ヨリソノ源ヲ發出セシナリ或ハソノ譜系傳ハラズ祖父ヨリ以前知ベカラスト雖ビソノ先ヲ追溯スレバ始祖亞當夏娃ヨリ流れ出ザルモノナシ蓋シモト人ニ定リタル貴賤尊卑ノ種別ナシ故ニ權勢

アル家時ニ衰微シ。卑賤ノ人時ニ顯達ス。新者ハ舊ニ代リ。故家ハ平民ノ中ニ埋沈ス。拔爾克ノ著ハセル。ヴィンセントス。ヲファミリース。門族ノヲ觀ルトキハ。人生盛衰ノ常ナラズ。外沈ノ時ナラザルニ感ズベク。又富貴ノ人ノ災禍ヲ受ル。貧賤ノ人ヨリ甚シキヲ知ベシ。昔シ英王約翰暴虐甚キニヨリテ。巴倫士ノ貴爵二十五人相議シテ。英王ヲ限制スル法所謂馬格那查達ノ約法ヲ定メシソノ後裔。今貴爵ノ家ニ一人モ存スルモノナシ。蓋シ内亂相繼ギソノ家皆亡滅シテ。衆庶ノ中ニ汨没セシナリ。サレバボハレス。邀的麥北藍太日奈ノ如キハ。古ヘ有名ノ貴族ナレドモ。今世卑賤ノ人ニテコレ等ノ姓ヲ蒙ムルモノアリ。コレソノ苗胤ナリ。英王義德瓦第六ノ子ナリシ根的亞爾。支那ノ伯ノ遠裔ニシテ。

今屠者トナルモノアリ。稅吏トナルモノアリ。西門。芬福ノ遠裔ナリトテ。今トーレイ街ニ鞍匠トナルモノアリ。阿カ弗。格朗空ノ曾孫ハ。スノーヒルニ住シテ雜貨ヲ賣リ。カクノ如キ類ソノ他枚舉ニ暇アラズ。人世榮貴利達ノ恃ニ足ザルコトニ於テ見ルベシ。

② 現存スル貴爵ノ家多ク商賈ヨリ起シ事

現今英國ニテ貴爵ノ家多ク有コトハ。中古以來商賈ノ險ヲ冒シ危ヲ凌キ。邦國ノ爲ニ貨財ヲ生ズルモノニ賞典トシテ封スルニ貴爵ヲ以スルニ由リ。高奴瓦律士亞爾ノ祖ハ。チフサイドノ商人ナリ。厄塞亞爾ハ。ソノ祖ヲ維廉加百爾ト曰テ。賣布商ナリ。古禮文亞爾ハ。ソノ祖ヲ維廉古禮文ト曰テ。裁縫匠ナリ。今ノ瓦威克亞爾ハ。キングメーカブノ後胤ニ非

スレテツノ祖ヲ維廉額列未列ト曰テ毛ヲ商シモノナリ。今ノ諾東北蘭去克支那ノ公ハ百爾西ノ宗派ニ非スレテ。休斯密士敦ト曰ル倫敦ノ賣藥商ヲツノ祖トナセリ。ダートマウス氏。ラドノル氏。ダート氏。ホムフレット氏。以上貴爵ノ家。ツノ先ハ皮工。製綃工。裁縫工。加勒斯ノ商ナリ。タンケルグイ氏。ドルメル氏。コウエントレイ氏。以上貴爵ノ家ハツノ祖ハ皆賣綃商ナリ。ロム子一亞爾勞爾德得立。勞爾德娃德ノ先ハ打金匠。玉器工ナリ。勞爾德。デールカスノ祖ハ查爾斯第一ノ時ノ銀舗ナリ。勞爾德。バアストウシハ。今女王維多利亞ノ時ノ銀舗ナリ。李圖丟克註上ニ見ユノ開祖ハ義德瓦窩士畔ト曰テ倫敦橋上ノ富饒ナル織布工黒空ハウヰット的ノ徒弟ナリシナリ。黒空ハウヰット的唯一女子アリシガ一日過テテテイハス迷士河ニ溺レシ時窩士畔コレヲ

Richard Foley.

見テ水中ニ跳リ入り。ツノ命ヲ救ケルヨリ遂ニ夫妻トナレリ。○ソノ他貿易ノ事ヲ爲ニヨリテ貴爵ノ家ヲ創シ者ハヒツウィルム氏。レイ氏。ヒートル氏。カウヘル氏。ダーンレイ氏。ヒル氏。加林敦氏。ノ如キ是ナリ。福禮氏。諾曼倍氏。ユノ二大族ノ祖先。ソノ剛毅ニシテアキラカニ推ガルトノ事跡尤モ焯トシテ人ノ耳目ヲ照セリ。世ニ傳ハルトコロノ話説ヲ下ニ録出ス。

③カ查福禮釘ヲ造ルノ秘ヲ探ラント欲シ。艱難ヲ冒ス事

\*カ查福禮ハ福禮氏ノ元祖ニシテ。ソノ父ハ斯土比日ニ近キ邑ノ小農ナリ。コノ時ニ當リ。コノ地ハ中省ノ製鐵場ノアルトコロナリケレバ。コレヲ以テ口糧ヲ得ルモノ多カリ。福禮モ釘ヲ造ルヲ以テ業トセリ。コノ時英國ニテ鐵條

ヲ分チ釘ヲ造ル業未ダ拙劣ニシテ大ニ功カヲ勞シ光陰ヲ費シケル故福禮ハ毎日コノ業ヲ操作シナガラ何デ簡便ニ製造スル法モガナト思シガソノ後斯七比日ノ釘匠次第ニ職業ヲ失ヒ衰頹ノ氣象ヲ爲タリコレ何故ゾトイフニコノ時瑞典ノ人機器ヲ用テ鐵ヲ折キ工カヲ煩サズシテ釘ヲ造リ低價ヲ以テ英國ニ輸入スルニ由リ福禮コノ事ヲ聞キ忽チ凶失テソソ往トコロヲ知ズ數年ノ間絶テ消息ナカリケリサテ福禮ハ瑞典ニ往キ釘ヲ造ルノ秘ヲ窺ハント欲セシガソノ事ノ四方ニ洩レ聞エントヲ恐レ家人ニモ告ズシテ竊ニソノ郷ヲ出タルナリ囊ニ錢財ハク特ニ一ハ絃弓ヲ携ルハミハル河口ヨリ舟ニ乗テ瑞典ニ着シケル後絃弓ヲ彈シ乞巧トナリテダン子モラノ鐵

礦ニ至リ福禮ハ音樂ニ巧ニシテ且天性快活ナル人ナルニ由テ大ニ製鐵場ノ工人ニ歎愛セラレ何ノ處ニモ到ルト許サレケル故ニ毎ニ機會ヲ失ハハズシテ觀察ノ功ヲ積ミ鐵ヲ折ク所以ノ方法ヲ研究シ久シテソノ心ニ把握スルトコロアルヲ覺ケレバ忽チ其所ヲ立去リケリ英國ニ歸テソノ得ルトコロノモノヲ以テソノ鄉村ニ語リケレバ邑人コレヲ信ジ本錢ヲ出シソノ言ニ從テ機器ヲ造リ工場ヲ建タリレガコレヲ運用セント欲スルニ及ンデ機器動カズレテ鐵條折ザリケレバ福禮ヲ始トシテ衆人大ニ失望ス時ニ福禮再ビ見エズナリニケリ人ミナ福禮ソノ失敗ヲ耻テ永ク何ノ地ニカ逃去シナラント思ヒタリケリ然ルニ福禮ハ鐵ヲ折ノ秘事ヲナホモ究極セ

\* William Phipps.

ント欲シ。前ノ如ク絃弓ヲ携テ。瑞典ノ鐵礦ニ赴キタリ。エ  
 ノ地ノ工人。交バツノ來ルヲ歡接シ。且福禮ハ純粹ノ樂人  
 ナリト思ヒテ。遂ニユレヲレテ鐵ヲ折ク工場ノ中ニ寓居  
 セシメタリ。福禮絃弓ヲ彈ズルノ外。伴テ痴騷ヲ粧シケレ  
 バ。工人マス。疑トコロナク。永ク留メテ歡娛ニ供セント  
 欲セリ。福禮心ヲ留テソノ作エヲ查察シ。ソノ失敗ノ由ヲ  
 悟リ。又器械ノ圖ヲ作り。ソノ運用ヲ審ニシ。久シク光陰ヲ  
 度リ。造釘ノ事。ソノ心ニ了然トシテ明白ナルヲ覺エケレ  
 バ。出走テ英國ニ歸帆ス。福禮歸リテ後。ユレヲ試ミケルニ。  
 コノ回ハ。ソノ功十分ニ成就セリ。ユレヨリ益々勤勉シテ。  
 工事ヲ興シケレバ。獨リソノ家ヲ富セシハ。ミナラズ。斯土  
 比日ナガク。貨財生殖ノ郷トハナリニケリ。

福禮斯土比日ニ一ノ學校ヲ建テ。郷人ニ惠賜セリ。ソノ子  
 托馬士烏斯德ノ知府トナリシモノ。スウインランドニ惠民院  
 ヲ設ケ。子女ヲシテ費銀ヲ出サズシテ學ブヲ得セシメ  
 タリ。英王查爾斯第二ノ時。封ゼラレテ。貴爵ノ家ニ列セリ。  
 四 維廉費布士沈船ノ貨財ヲ搜リ出ス事  
 諾曼倍族ノ先祖維廉費布士ハ。一千六百五十一年亞墨利  
 加ノ緬ニ生ル。ソノ父ハ。銃工ニシテ。男子二十一人。女子五  
 人アリ。故ニソノ子ヲ教養スルニ備ラズ。後來ハ。命運ハ。各  
 フハ。心思ノ才。軀幹ノ力ニ任セタリ。費布士小時羊ヲ嫩ス  
 ルヲ以テ業ト為シガ。天性剛毅ニシテ。險ヲ冒スノ氣象ア  
 ルガ故ニ。舟人トナリ。世界ニ歷遊セント欲セシカドモ。ソ  
 ノ便ヲ覓メ得ザレバ。先ツ造船工ノ徒弟トナリ。盡クソノ



術ヲ習ヒ曉リ。後ボストンニ移リテ婦ヲ娶リ。自ラ己ノ船ヲ造リ。材木ヲ賣買シ。凡ソ十年ノ間。カクシテ在リケル。一日ボストンノ街ヲ過ル時。偶々水夫相語リテ。方剛バハマスノ港ニテ。士班ノ船多ク金銭ヲ積ルモノ破レ沈ミタリト言フ。聞キ費布士險ヲ冒スノ精神。忽チ生ジ急ニ水手ヲ集テ。バハマスニ向テ船ヲ駛ケリ。聞シニ違ハス。ソノ破船ノアリケルヲ看出シ。許多ノ船貨ヲ獲タリシガ。金銭ハ甚ダ少クシテ。僅ニ費用ニ充ルバカリナリ。然ドモコレニ由テ。艱險ヲ輕シ。大事ヲ圖ント欲スルノ念。益々生シケル。時シモ他人又費布士ニ語ルモノアリテ。五十年前ニ士班ノ許多ノ金銀ヲ載ル船。ポートラグラタニ壞レ沈ミタルコアリト曰クレバ。費布士コノ水中ノ寶庫ヲ漁獵スベシト。忽チ思

ヒ起セリ。

費布士家貧シカリケレバ。カクノ如キ大事ハ。有力者ノ助ヲ假サレバ為シ得ベカラスト思ヒ。英國ニ航シ直ニ官府ニコノ事ヲ請ケリ。官吏ノ心。例惜懂ナルモノナレド。費布士ノ熱心懇求ニ動サレテ。英王查爾斯第二ニ聞エ。遂ニ十八門ノ炮。九十五人ヲ具タル船ヲ借シ與ヘ。且命ジテ船主トナサレタリ。費布士難ナク。ヒスパニラノ海岸ニ至リ。士班ノ沈船ヲ覓メシガ。五十年前流傳ノ説ナレバ。踪跡スベキ定所アラズ。因テ海邊ニ傍ヒ。水底ヲ撈ルト。數十日ノ久シキニ及ベドモ。牽上ルモノハ。特ニ海草石塊ノミナリケレバ。舟人大ニ倦ミ疲レ。吾等カ。ル愚ナル事ニ使ハル。コノ淺マシケレト。互ニ私語テ費布士ヲ怨ケリ。



既ニシテ船中ノ人公然トシテ船主ニ叛キ或日一隊ノ黨  
船板上ニ突進シコノ企ヲ止ントヲ求メタリ費布士ハユ  
レ等ニ驚ベキ怯者ニアラザレバ叛亂ノ頭人ヲ縛縛シ  
ノ餘ノモノヲシテ退テソノ職事ヲ執ラシメタリユノ時  
船ヲ修復スベントテ小嶋ニ近ヅキ錨ヲ卸シ船載ヲ輕ク  
セントメニ什物ヲ大半陸ニ上セタル時水手ノ岸ニ登ル  
モノ再ビ反計ヲ畫シテ船ヲ奪ヒ費布士ヲ水ニ投ジ南海  
中ヲ巡リ劫掠ノ事ヲ為スベント企ケリ費布士ハコレ等  
ノ備ニトテ兼テ一ノ忠實ナル木工ヲ腹心ノ人ト頼ミ置  
ケルガユノ時備ニ水手ノ謀ヲ語ケル費布士コレヲ聞テ  
急ニ船中ノ己ノ意ニ合人ニ命ジテ銃鎗ニ火藥ヲ装セシ  
メ船ヨリ陸ニ通スル橋ヲ排陳セシメタリ謀反セル水手

近キ見エケレバ費布士コレニ向ヒ汝等モシ岸上ノ船貨  
ニ近バ炮ヲ放ツベント言テ水手ヲ引キ退カシメ盡ク貨  
物ヲ船中ニ運ビ返セリ反亂スル人コレヲ見テ不毛ノ嶋  
ニ捨置ントヲ懼レ兵器ヲ投棄テ再ビソノ職事ヲ勤ムベ  
ント降伏哀求シケレバ費布士因テ後來マタカクノ如キ  
惡事ヲナスマシキヲ告戒シテソノ請ヲ許セリ費布士  
オモヘラク英國ニ歸リ船ヲ修復シテ然後マタ再舉ヲ圖  
ルベント遂ニ倫敦ニ歸ル抑モコノ回ハ沈貨ヲ看出テ  
ト雖也必ズコノ違ニアルベシト思フトコロノ目的立ケ  
レバ險ヲ肩ノ志マスキ強クナリニケリ  
倫敦ニ歸テ後費布士ソノ有レコトドモヲ水師提督ニ語  
リ王ノ他船ヲ借ントヲ請ケルガコノ細ノ利ナキヲ以テ

信用セラレズ。且、**惹迷斯**第二新ニ位ニ即キ、政府騷擾ナル  
が故、コレ等ノ説ヲ聽入ザレバ、**費布士**因テ國民有志ノ者  
ヨリ、金ヲ集メテ、コノ事ヲ企テント。欲セリ。始ノ程ハ衆人  
ニ笑ハレタリシガ、ソノ懇請ノ已ナキニ由テ、次第ニソノ  
説人ニ信ゼラレ。四年ノ後ニ、元金ヲ出スモノ二十人集リ  
テ、一會社立タリ。**費布士**海底ヲ撈ル。一器械ヲ作ル。今ノ卷  
ンダ、**ベル**下水ノ如キモノト云リ。又**印度**ノ珠ヲ撈ル。没人ヲ  
催ヒ、ソノ他ノ準備具、リケレバ、**ポルト**デラプラタニ向テ發船  
ス。器械ヲ沈テ海底ヲ搜リ、ソノ他種々ノ方法ヲ以テ水中  
ノ物ヲ曳上ダ。カクノ如キ一數十日、勞苦シテ已ザリシガ、  
更ニ毫髮ノ功モ見エズ。久シテ後、一日船ノ側ニアリテ、清  
徹ノ水ヲ俯シ見タリシニ、**珍**レキ海草、岩穴ヨリ叢生スル

モノ有ケレバ、**印度**ノ没人ニソノ草ヲ取り來レト命ズ。赤  
人ソノ言ニ隨ヒ、水ニ下リ海草ヲ取ルニ、ソノ邊ニ許多ノ  
銃鎗アルヲ見タレバ、出來リテ、レカシカト報ズ。コノニ於  
テ、又一ノ没人ヲレテ往テ見セシメタレバ、銀條一枝ヲ抱  
テ、舟ニ登リ來レリ。**費布士**コレヲ見テ、上帝ニ向ヒ、恩ヲ謝  
シ、サテ下水鐘ヲ卸シ、没人ヲレテ沈没セル貨物ヲ引上レ  
ムルニ、數日ニシテ、ソノ事ヲ竟ケルガ、ソノ價值、凡ソ三十  
萬金ノモノヲ獲タリ。**費布士**コレヲ携テ、**英國**ニ歸リシニ、  
或人、王ニ謂テ、**費布士**サキニ陛下ニ請ト雖、**コノ事**ヲ精  
詳ニ言ザリキ、今コレヲ名トシテ、ソノ船及貨物ヲ没取シ  
玉ヘトイフ。王コタヘテ、否、我ハ**費布士**ノ正直ナル人ナル  
ヲ知リ、タトヒ、彼コレニ倍スル貨物ヲ獲タリトモ、彼ト



159  
344(5)

斯邁爾斯自助論第七編終

斯邁爾斯自助論